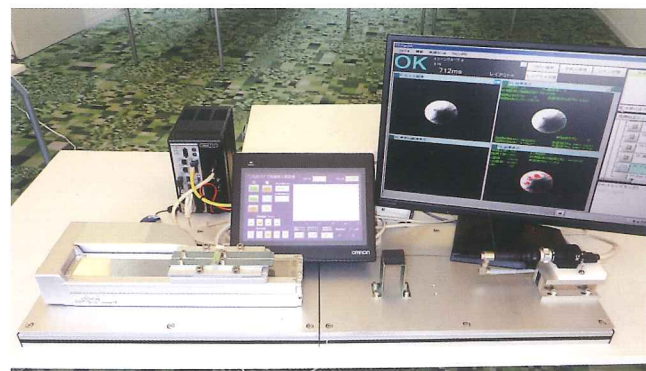


## 二九精密機械工業株式会社

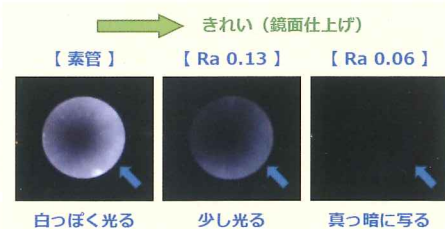
二九精密機械工業株式会社は、京都市南区で精密微細加工部品の開発設計、製造業を営んでいます。今回、同社代表取締役社長 二九良三様に、同社の歴史や技術、人材育成、福利厚生、今後の展望についてお話を伺いました。

### 小径管内部の非破壊検査装置「アラサミール」



2021年12月  
機械振興賞（機械振興協会会長賞）受賞

点滴針のような非常に細いパイプ内面の表面粗さや傷、付着物を検出することができる。パイプサイズ内径は、約Φ0.45～Φ2.0mm。



#### パイプ内面の測定画像

内面粗さに応じて、反射光が変化。傷や残留物があると明るく光るため、画像から判定して、不良品を自動検出。量産工程で使用するため、測定画像やデータはサーバー保存・トレースが可能。

#### ＼保証協会へメッセージ／

経済産業省が管轄する機械振興賞に当社の「アラサミール」（小径管内部の非破壊検査装置）をご推薦いただきましたことからご縁が始まりました。

職員方に、懇切丁寧かつ行き届いた対応をしていただいています。事業支援に関しても、職員のチームワークを生かし、真摯に向き合ってください、大変感謝しております。



代表取締役社長 二九良三様



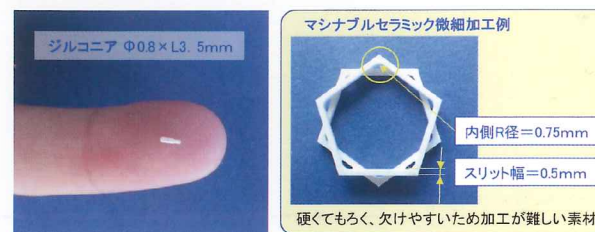
#### 二九精密機械工業株式会社

代表者 代表取締役会長 二九宏和  
代表者 代表取締役社長 二九良三  
住所 京都府京都市南区唐橋経田町33-3  
事業内容 精密微細加工部品の開発設計、製造業  
創業 大正6年



#### ▶はじめに、同社の歴史について伺いました。

「当社は、大正6年に仏具の金属加工業として創業しました。創業から現在に至るまで、切削加工技術をベースに、一般機械部品、半導体装置部品、分析機械部品、医療器具部品等を製造し、時代のニーズに沿って加工技術を高度化してきました。2020年には、経済産業省から、世界市場のニッチ分野で勝ち抜いている企業や、国際情勢の変化の中でサプライチェーン上の重要性を増している部素材等の事業を営む優良企業として「グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。」



医療器具に用いられる微細加工部品

#### ▶続いて、技術について伺いました。

「精密切削加工、微細穴加工、鏡面加工、レーザー加工等、独自で開発した技術により、微細な加工や複雑な加工が可能です。令和3年12月には、当社で開発した小径管内部の非破壊検査装置「アラサミール」が、機械振興賞を受賞しました。アラサミールは、点滴針のような非常に細いパイプ等の内部の粗さを測定することができる装置です。今までは、医療機器等で使用されるノズルやパイプ内部の傷や凹凸を測定する際、同じ製造条件・生産ロットの製品を一部抜き取り、パイプを半割にし、内面の粗さを測定する破壊検査の方法でしか測定ができませんでしたが、アラサミールは、非破壊式で内視鏡のように測定ができるため、様々な検査が可能となりました。当社にしかできない最先端技術により実現できた世界初の装置であり、医療機器等の品質保証等で役立っています。」

#### ▶人材育成と福利厚生について伺いました。

「社員には、「家庭が第一！仕事はその次！」という意識で働いてもらっています。育児に関しては、小学校卒業までの育児短時間勤務制度や、健康に関しては、入院手術時の見舞金制度等、様々な福利厚生を社員に利用してもらっています。定期的に社内イベントも実施し、風通しの良い職場作りを目指しています。こうした取り組みの結果、2021年には、特に優良な健康経営を実践している企業として「健康経営優良法人2021ブライツ500」にも認定されました。

人材育成については、社員の提案により、技術のマニュアル化を進め、熟練技術者から若手社員へ承継ができる体制を整えています。また、時代に合わせ発展していけるよう、若手社員の意見も積極的に取り入れるようにしています。更なる人材育成のため、人材育成用の工場の購入等も予定しています。」

#### ▶今後の展望について伺いました。

「当社の製品を更に世の中に広げていきたいと考えています。現在は、部品やパーツ等が主力製品となっておりますが、開発者と設計者の力を借りながら、部品だけではなく、ひとつの製品を作っていきたいと思っています。会社を良くするのも、悪くするのも人次第だと考えていますので、今後も人材育成に注力しながら、製品の開発、普及をしていきます。」



令和3年11月 ものづくり現場研修の様子  
当協会若手職員を中心とした人材教育の一環として、京都府南丹市の八木工場を見学させていただきました。